

EIMJ TOPICS



06

Inside This Issue

- ACSM 報告
- EIM Korea 招聘講演
- 日本臨床運動療法学会合同企画 報告
「運動を社会に届ける力：EIM Japanと企業の挑戦」

EIM GLOBAL HIGHLIGHTS

国際会議参加報告 ACSM 2026



2026年5月26～29日、米国ユタ州ソルトレイクシティで開催されたAmerican College of Sports Medicine (ACSM)の年次学術集会に、EIM Japanから理事長 木村穰、理事 日浦幹夫が参加しました。会期中には、Exercise is Medicine® (EIM)の各国ナショナルセンターが集まる「EIM National Center Directors Meeting」をはじめ、EIM関連セッションやポスター発表、EIM On Campusの活動報告などが行われました。



◀日浦幹夫理事によるポスター発表 (ACSM2026)

各国のEIM関係者との情報交換

EIM National Center Directors Meetingには、アジアや欧米を中心に約15か国のナショナルセンター関係者が参加しました。各国から現在の活動状況や取り組みが紹介されるとともに、今後のEIMの展開について意見交換が行われました。

各国で活動内容や実施体制は異なるものの、デジタル技術の活用や地域への展開など、新たな取り組みが進められており、EIM Japanにとっても今後の活動を検討するうえで有意義な機会となりました。

EIM Japanからの発表

EIM Japanから、非接触型センサーとアプリケーションを活用した身体機能評価および運動プログラムに関して発表しました。非接触で得られる身体機能情報をもとに運動処方につなげる新しい取り組みで、会場では多くの質問や意見が寄せられました。

EIMでは、医療の場で身体活動や身体機能进行评估し、適切な運動を勧めるとともに、必要に応じて運動専門職や地域の運動資源へつなげていくことを重視しています。今回紹介した取り組みも、評価だけで終わらず、その後の運動実践へつなげていくというEIMの考え方にもとづいています。

海外のEIM関係者からも、高齢者や元アスリートの身体機能評価、運動継続支援への活用について関心が示され、今後の海外展開の可能性についても意見交換が行われました。

デジタル技術を活用して身体機能の評価から運動実践へつなげる日本での取り組みは、2026年6月にACSM公式サイトの[EIM Blog](#)で紹介され、さらにEIMのニュースレター“From Salt Lake City to the World: Global Connections, New Ideas, Lasting Impact”のEIM International Updateでも取り上げられました。EIMの理念を具体的な仕組みとして実践する一例として、国際的にも発信されています。



EIM On Campusの取り組み

EIM On Campusのセッションにも参加しました。EIM On Campusは、大学を拠点として学生自身の身体活動を促進するとともに、学生がEIMの考え方を地域や社会へ広げていく取り組みです。

セッションでは、多くの大学からそれぞれの活動内容が紹介され、優れた取り組みに対する表彰も行われました。大学生自身の運動不足への対応だけでなく、学生教育と地域への社会実装を組み合わせている点が特徴的でした。EIM Japanとしても、日本の大学におけるEIM On Campusの展開を今後検討していきます。



アジア各国との連携に向けて

今回のACSMではEIM KoreaやEIM SingaporeをはじめとするアジアのEIM関係者とも意見交換を行いました。特にデジタル技術を活用した運動・身体活動支援やHealthy Longevityを含む今後のEIMの方向性について議論が進み、ACSM 2027に向けた国際共同企画についても提案を行っています。

ACSM 2026への参加を通じて、各国のEIM活動の現状を共有するとともに、デジタル技術、大学でのEIM推進、国際共同企画など、今後のEIM Japanの活動につながる新たな交流を深める機会となりました。各国で進むEIMの実践にも引き続き注目していきます。

NEXT | ACSM 2027

June 1-4, 2027
Indianapolis, Indiana, USA

Indiana Convention Center & Lucas Oil Stadium



ACSM 2027は2027年6月1～4日に米国インディアナ州インディアナポリスで開催されます。

学術集会REPORT

※本報告は当日プログラムおよび抄録をもとに編集委員会で要点をまとめました。

第45回 日本臨床運動療法学会学術集会（2026年9月5～6日 昭和医科大学上條記念館で開催）において、EIM Japanは、[日本臨床運動療法学会](#)と共催で、[合同企画ジョイントセッション「運動を社会に届ける力：EIM Japanと企業の挑戦」](#)を開催しました。

【座長：木村 穰先生（関西医科大学 健康科学センター） 森山 善文先生（偕行会 名古屋共立病院 ウェルネスセンター）】

【関連リンク】

日本臨床運動療法学会 [HP](#)



第45回 日本臨床運動療法学会
学術集会[HP](#)



本セッションでは、EIM（Exercise is Medicine）の理念を社会で実践していくために、EIM Japanの活動に加え、パートナーシップ企業によるデジタル技術、地域での運動支援、家庭用機器を活用した取り組みが紹介されました。継続的な身体活動をどう推進できるかについて、多様な視点から議論されました。

EIM Japanの活動紹介と今後の展望：
国際交流を中心に

日浦 幹夫

（青森大学脳と健康科学研究センター）

EIM Japanのこれまでの活動を振り返るとともに、海外のEIM National Centerとの交流や各国で進められている取り組みが紹介されました。また、ACSMをはじめとする国際的な交流を通じて得られた知見や、今後の国際連携・共同企画につながる展望について報告されました。



（次頁へ続く）

PHRアプリ利用による生活習慣病の重症化予防の効果検証

藤崎 淳矢

(コガソフトウェア株式会社 EIMサービス部
部長／関西医科大学 研究員)

PHR (Personal Health Record) アプリを活用し、日常生活の中で得られる健康情報を継続的に把握しながら、生活習慣病の重症化予防につなげる取り組みが紹介されました。デジタル技術を活用して、医療の場だけでなく日常生活における健康管理や行動変容を支援する可能性について報告されました。



高齢女性の運動支援と地域での展開

齋藤 光

(株式会社カーブスジャパン)

高齢女性が身近な地域で運動を始め、継続していくための支援について、実際の取り組みをもとに紹介されました。運動機会を地域の中に広げ、日常生活の中で継続的に身体活動に取り組める環境づくりという観点から、その実践と展開について報告されました。



運動実施困難者に対する新たな運動支援の可能性 —エビデンスに基づく家庭用EMS機器の臨床応用と社会実装—

熊崎 嘉月

(株式会社MTG WELLNESS事業本部
SIXPADメディカル部)

身体状況などにより自ら運動を行うことが難しい方に対する新たな運動支援の選択肢として、家庭用EMS機器の活用について紹介されました。これまでに得られている知見を踏まえながら、家庭・生活の場での展開から臨床現場での応用まで、運動支援の選択肢を広げる可能性について報告されました。



4つの発表を通じて、EIMの考え方をそれぞれの現場や生活の場で実践していくためのさまざまな可能性が示されました。ACSM 2026で共有された国際的な取り組みも踏まえながら、EIM Japanでは今後も医療・運動指導・地域・企業との連携を通じ、運動・身体活動を社会に広げる取り組みを進めていきます。

INFORMATION

EIM Korea Symposium 2026

木村穰理事長・日浦幹夫理事が招聘講演

2026年11月7日、韓国・ソウル市で開催される

「2026 EIM Korea: Exercise Is Medicine Symposium」

(テーマ: The Moment Exercise Becomes Medicine) に EIM Japanから理事長 木村 穰、理事 日浦 幹夫が招聘され、国際セッション「International EIM Invited Lectures」に登壇予定です。

本シンポジウムでは、睡眠、Active Aging、がん、運動負荷試験・運動処方など、Exercise is Medicineに関連する幅広いテーマが取り上げられます。EIM Japanからの招聘講演を通じて、EIM Koreaとの連携を深め、今後の国際交流につなげる機会となります。

EIM Korea Symposium 2026

"The Moment Exercise Becomes Medicine"

11 / 7 (Sat)
8:30 AM-5:00 PM

建国大学病院
(ソウル市広津区)

木村 穰
EIM Japan理事長

日浦 幹夫
理事

International EIM Invited Lectures

Chair: Jinwook Chung (Dongguk University)

10:00-10:40 Lectures | 10:40-11:00 Discussion